

令和8年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



9月号

9月に入り、夏の厳しい暑さも少しずつ和らいできているように感じられます。

さて、旧暦8月15日の夜（十五夜）に見える月は「中秋の名月」と呼ばれ、2026年は9月25日がその日にあたります。中秋の名月を愛でる風習は平安時代に中国から伝わったといわれています。日本では、この時期の収穫への感謝と結びつき、収穫された里芋をお供えすることから、地方によっては「芋名月（いもめいげつ）」とも呼ばれています。現在でも、ススキや月見団子をお供えし、美しい月を眺めて楽しむ風習が受け継がれています。



なお、今年の「中秋の名月」は満月ではなく、満月となるのは2日後の9月27日です。中秋の名月は旧暦8月15日と定められていますが、月の公転軌道は楕円形で、

新月から満月までにかかる日数が毎回同じではないため、このようなずれが生じます。

十五夜の月を楽しむのもよし、満月を楽しむのもよし。秋の夜空をゆっくり眺めながら、季節の移ろいを感じてみてはいかがでしょうか



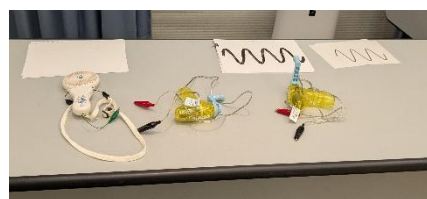
科学ヘジャンプ

科学ヘジャンプ・イン・滋賀2026

8月5日（水）滋賀県立博物館にて開催された「科学ヘジャンプ・イン・滋賀2026」に本校から2名の生徒が参加しました。「からだで楽しむ手回し発電」では、発電機を手や足で回して、電球を点けたり、小型扇風機を回したりして楽しみました。「琵琶湖の森を感じてみよう」では琵琶湖に生育する樹木や木材の匂いをかいだりしながら、琵琶湖の森とその歴史を感じました。「触れて魚を知ろう」では、本物の魚に触りながら魚の種類によって形が違ふことが実感でき、なぜ種類によって形が違ふのかを知ることができました。



手回し発電機



小型扇風機



人間発電機

TOPICS 視覚に関する支援機関

特定非営利活動法人 神戸アイフレンド

〒654-0151 神戸市須磨区北落合5-15-23

Tel: 090-5040-8151 e-mail: patora10271@yahoo.co.jp

（受付時間：9:00～18:00）

活動内容

視覚障がいのある子ども達とその家族がより充実した生活や学習活動を送れるよう、次のような支援活動を行っている特定非営利活動法人です。

1. 子ども達の視覚を中心とした発達を継続的に把握して支援をします。
2. 視覚障がいを正しく理解し子ども達とその家族を支援できる人を育てます。

支援者は、教員や視能訓練士として、長期にわたり視覚障がいの子ども達の教育や療育に携わってきた方々です。その経験を活かして支援していただけます。

対象は・・・

神戸市、その近辺に在住している目の不自由な子ども達とその家族

支援内容は・・・

1. 育児相談
子供との関わり方、向き合い方について ご相談下さい
例えば
◆どんなおもちゃや絵本がいいのか、見やすく安全な環境づくりを紹介します。
◆親子集団活動で、楽しくふれあいながら、お子さんの発達を促すような支援を行います。
◆保護者同士が情報交換し交流を深める場とします。
2. 学習支援（神戸市の委託事業）
場所：訪問または来所
時間：90分 費用：1,500円 + 交通費実費
内容：基礎学力の充実のための支援
① 点字の指導
② 視覚補助具の紹介と使い方の指導
③ 読み書き計算の練習
3. 視覚障がい理解と啓発
① 視覚障がいの子ども達の保護者やその家族の交流会
② 視覚障がい理解のためのセミナー
③ 視覚障がい疑似体験会「見えない・見えにくいを知ろう」
④ 点字付きメッセージカードの作成販売
⑤ 支援者育成のための研修会

